

【研究概要】

新規シナプスオーガナイザーの制御による神経発達障害の治療法開発

脳は神経細胞が軸索を伸ばして標的細胞とシナプス結合し、回路を形成することで、多様な機能を表出する。神経発達障害の一部では、シナプス結合障害が認められており、神経機能を司るネットワークが破綻している。私たちはこれまで、破綻した神経回路の修復を導く分子機構の解明をすすめてきた。本研究では、ハイスループット細胞機能探索システムを用いて、新規シナプスオーガナイザーの機能解析と治療標的としての有効性の評価を行なった。